

特別活動部会

研究主題 「特別活動における教員の相互研鑽による授業力向上の工夫」

～授業力を向上させるための観点例と「特別活動授業力向上シート」の開発～

I 研究の目的

教科・科目の指導と同様に、特別活動においてもその指導の成否は、教員一人一人の授業力にかかっている。教員の授業力の向上を図るためには、教員一人一人の自己研鑽はもとより、教員の相互研鑽、とりわけ教員相互による授業参観が不可欠である。

本部会では、特別活動における教員相互の授業参観をより一層効果的なものとするために、具体的な手立てを研究開発することに取り組んだ。

授業力向上のためには、自らの指導状況を振り返った上で、他の教員の授業（ロングホームルーム）を参観したり、学校行事の指導ぶりを参観したりすることにより、自分が気付かなかった授業の運営方法や学校行事の指導方法などを学ぶことが必要である。

上記の考え方に基づいて、今年度は「授業力を向上させるための観点例」を作成し、これを活用する「特別活動授業力向上シート」（以下「授業力向上シート」という）を研究開発した。

II 研究の内容

1 授業力を向上させるための観点例と「授業力向上シート」の開発について

特別活動における授業力向上を目的とした「授業力を向上させるための観点例」は、授業改善のためのマネジメント・サイクル（PDCA）や東京都教育委員会が示している授業力の6つの構成要素を参考にして、観点や項目をまとめた。作成の際、計画・立案、実施、評価・改善に分類し、必要と思われる観点や項目を設定した。

観点例を活用することにより、自らの指導をより深く振り返ることが可能になるとともに、他の教員の授業を参観する際も、漫然と見ることなく視点をもって参観することが可能になると考えた。

「授業力向上シート」は、観点例を実際に活用して授業改善のヒントを得るためのものである。したがって、観点例を基に自らの授業において不足している点や工夫の余地のある観点を選び出し、その観点について自らの指導状況をまとめることができるようにした。さらに、他の教員の授業を参観し、そこから得られた授業改善のヒントを記入できるようにした。

本部会で研究開発した「授業力を向上させるための観点例」と「授業力向上シート」は、ロングホームルームと体育祭の指導の中で試行し、その有効性を検証した。

「授業力を向上させるための観点例」と「授業力向上シート」の活用は、教員一人一人が自己の指導を見つめ直す契機となるとともに、校内研修などにおける協議資料としても活用できると考えている。

2 「授業力向上シート」の活用の仕方

(1) 「授業力向上シート」の記入の仕方

特別活動授業力向上シート

観点	項目		自己の指導状況	参観した授業から 得た改善のヒント
計画 ・ 立案	(7) (例)	(イ) (ウ)	(エ)	(オ)
	3	② 係 分 担	協力的な生徒 だけで進めて いる。	全員に役割を分 担すると全員参 加につながる。

〈記入例〉

シートの作成 1

- (7) 観点の番号を記入。
 - (イ) 項目の番号を記入。
 - (ウ) 項目の内容を簡単に記入。
 - (エ) 自らの授業や指導の状況を記入。
- * (7)～(エ)は授業参観前に記入し、授業にシートを持参。

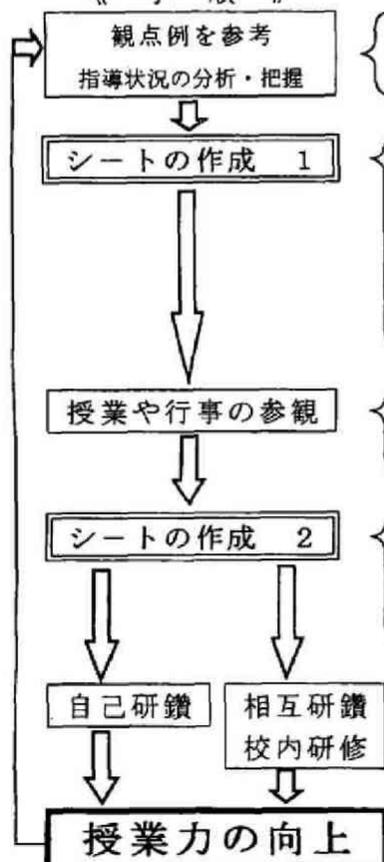
シートの作成 2

- (オ) 参観授業から得た指導法の工夫や改善のヒントを記入。
- (カ) 授業者(担当者)の指導法などで気付いたことや授業の感想を記入。

(感想)

(2) 「授業力向上シート」の活用の仕方

《手順》



《内容・留意点》

- ・ 観点例や項目例を参考にして、自己の指導状況を分析し、把握する。
- ・ 観点、項目番号とその内容を例示の中より選ぶ。
- ・ 自分が伸ばしたい観点や項目を選ぶ。
- ・ シートの欄のすべてを埋める必要はない。
- ・ 指導状況によって、独自の観点と項目を記入する。
- ・ 自己の指導状況を具体的に記入する。
- ・ ロングホームルームや学校行事を参観する。
- ・ 参観しながら自己の指導法や指導内容と比較する。
- ・ 参観したロングホームルームや学校行事での改善のヒントを記入する。
- ・ 授業参観のまとめとして、感想や評価を具体的に記入する。
- ・ 自分自身が気付いた点を指導の工夫や改善に役立てる。
- ・ 校内研修などで授業参観から得た指導法などの工夫について報告し、協議を行う。

特別活動授業力向上シート

	観 点	項 目	自己の指導状況	参観した授業から得た改善のヒント
計 画 ・ 立 案				
実 施				
評 価 ・ 改 善				

(感想)

授業力を向上させるための観点例

	観 点	構 成 要 素	項 目
計 画 ・ 立 案	1 目的や内容の明確化	A	① 自主的、実践的な態度を育てようとしている
		B	② 学校や生徒の実態に合った指導内容の重点化を図っている
		B	③ 生徒相互が協力し、個性を発揮し合えるようにしている
		C	④ 生徒が活動に対して共通理解をもてるよう指導している
		D	⑤ 学校行事が学習の成果を発表する機会となるようにしている
	2 計画・準備	A	① 社会生活上のルールへの尊重と責任感を養っている
		A	② 人間としての在り方生き方についての自覚を深めさせ、自己を生かす能力を養っている
		C	③ ロングホームルームと学校行事が相互に関連し合うようにしている
		D	④ 担任(担当者)と生徒が事前の打ち合わせを行っている
		D	⑤ 時間的に余裕のある指導計画を作成している
		D	⑥ 実行委員会などが計画的な準備を行っている
		D	⑦ 担任(担当者)が目標を達成するための計画的な指導を行っている
		D	⑧ 本時の授業が継続的な活動となるよう発展させる指導を行っている
		D	⑨ 学校行事における教員の役割分担を明確にしている
		D	⑩ 学校の指導体制、協力体制の確立を図っている
	D	⑪ 教職員間で共通理解を図っている	
	E	⑫ 教材、資料、用具の準備ができています	
	F	⑬ 3年間を見通した全体の年間授業計画を立てている	
	F	⑭ 年間授業計画に基づいて本時の授業が計画されている	
	F	⑮ ロングホームルームと進路指導を関連させている	
	3 生徒の役割分担	A	① 集団をまとめることができる生徒を育てている
		B	② 生徒の係分担が適切になされている
		C	③ 生徒同士に、事前の打ち合わせをさせている
	4 家庭や地域との連携	A	① 地域・保護者の理解や協力を得ようとしている
		A	② 地域と幅広い交流をしようとしている
実 施	1 生徒理解	B	① 生徒の自由な発想を受け止めている
		B	② 生徒の健康や安全に配慮している
		C	③ 生徒の考えを生かし発展させている
	2 自発的・自治的な活動	B	① 上級生と下級生が協力している
		C	② 問題や課題等の解決に当たって、生徒同士で率直に意見を出し合えるように指導している
		C	③ 生徒が活動に対して目的・目標を理解して高い意識で参加するように指導している
		D	④ 各教科で獲得した知識・技能・能力を生かしている
		D	⑤ 生徒が積極的、意欲的に参加している
	3 熟意	A	① 生徒一人一人を理解し、適切な助言を与えている
		A	② 生徒の積極的な参加を促している

授業力を向上させるための観点例

	観 点	構 成 要 素	項 目	
実	4 姿勢	A	①生徒に公平で温かな態度で接している	
		B	②生徒の様子をよく観察している	
施	6 生徒への指導	B	③教員と生徒及び生徒相互の人間的な触れ合いを大切にしている	
		B	④生徒の問題を生徒とともに考え、歩もうとする態度がみられる	
		B	⑤生徒個々の個性の伸長を図る指導を行っている	
		C	⑥問題が発生した場合には毅然とした態度で指導している	
		D	⑦生徒が活動しやすい雰囲気作りに努めている	
		D	⑧生徒自身による創意工夫を引き出すように指導している	
		D	⑨各教員の特性や専門性を生かして指導している	
		5 説明の仕方	D	①分かり易く丁寧に話している
			D	②生徒が理解できるまで説明している
		施	6 生徒への指導	A
B	②生徒の自主性を引き出そうとしている			
C	③全体がスムーズに進行するための指導を行っている			
D	④生徒が立てた計画に対して指導を行っている			
D	⑤自主的な学習態度の確立を図る指導を行っている			
D	⑥生徒の活動意欲を高める指導を行っている			
E	⑦生徒の参考となる教材や資料を提示している			
評	1 興味・関心	D	①生徒の興味・関心を生かした指導を行っている	
		E	②教材や資料を活用し、効果的な指導をしている	
	2 生徒支援	B	①生徒理解に努め、生徒個々のよさを生かしている	
		D	②生徒の活動に対して適切な助言をしている	
	3 生徒の参加	A	①生徒が意欲をもって取り組めるような指導を行っている	
		B	②生徒が適材適所の役割をもった指導を行っている	
		D	③生徒が協力し合えるような指導を行っている	
		D	④本時の結果を基に次回の課題を考えさせる指導を行っている	
	改	4 指導内容の工夫と改善	D	①効果的な指導の在り方が工夫されている
			F	②次回の活動の改善につながるまとめがなされている
F			③ロングホームルームにおける生徒による授業評価を活用している	
F			④生徒のよい点を総合的に評価している	
F			⑤生徒の活動意欲を喚起する評価の方法を工夫している	
F			⑥教員間の指導体制を評価をしている	
F			⑦生徒の意見や要望を取り入れる等の工夫をしている	
善				

※ 構成要素（「授業力」の構成要素）を以下の記号で表す

A：使命感、熱意、感性

D：指導技術（授業展開）

B：児童・生徒理解

E：教材解釈、教材開発

C：統率力

F：「指導と評価の計画」の作成・改善

3 実践事例Ⅰ 「ロングホームルームを題材にした相互研鑽による授業力の向上」

(1) 学校の特色と生徒の実態

A校は、全日制普通科の単位制高校である。1年次にキャリアガイダンスの授業を設け、将来を見据えた上で2・3年次の授業を選択するところに特色がある。

ロングホームルームは水曜日の4時限目に設定されており、学校行事の計画や準備活動などは、生徒が中心となって行われている。しかし、開校まもないため、年間計画を立てた上で見直しをもったロングホームルームを運営するまでには至っていないのが現状である。

(2) 対象クラスとロングホームルームの内容

A校(全日制・普通科単位制)3年次生 39名

内容：9月最初のロングホームルームで、約3週間後に迫った文化祭の準備計画を作業グループごとに検討した。進行は、生徒が担当した。

(3) 参観を行った教員

C教員：採用2年目・担任経験なし(1年目、2年目ともに1年次生の副担任)
担任をもつことへ意欲をもっている。

(4) 取組の経過

文化祭の準備計画をグループごとに検討することを題材にしたロングホームルームの時間を他の教員に公開した。C教員には、ロングホームルームの準備として、クラスを中心となる生徒に資料を用意させたことや進行役の生徒と打ち合わせた内容を事前に紹介した。

C教員には、作成した資料にも目を通してもらった上で、「授業力向上シート」の記入を依頼した。観点表からの項目の選択については、担任経験がないことから、担任をもったときにどのような点に注意しながらホームルーム経営をしてみたいかという観点で選択してもらうようにした。

ロングホームルームが行われる前々日に「授業力向上シート」の記入状況について、C教員に確認したところ、あまり進んでいないということだったので、経験のある教員が「授業力向上シート」に項目や自己の指導状況を記入し、それを参考にして記入をしてもらうようにした。

副担任として正担任が不在時などにロングホームルームを受けもったことはあっても、正担任として先々を見通した形でロングホームルームを行った経験がないため、自己の指導状況の記入は、かなり苦勞したようである。

当日は生徒に授業参観を意識させないようにするため、生徒には何も説明をせずに、普段どおりの状況を見てもらうようにした。教室の後方からロングホームルームの進行、生徒の様子、担任のかかわり方などを観察してもらい、気付いた点や授業から得た改善のヒントを「授業力向上シート」に記入してもらった。

後日、完成した「授業力向上シート」をもとに、当日のロングホームルームやこのような教員の相互研鑽についての意見・感想を求めた。

特別活動授業力向上シート

観点	項目	自己の指導状況	参観した授業から得た改善のヒント
計画・立案	1 ②生徒の実態に合った指導内容	目標を設定し、繰り返し説明	予定の提示が明確：生徒も的確に把握
	1 ③生徒相互が協力し個性を発揮	生徒主体、つかず離れず指導	進行役の生徒を見守り、サポート役に徹する。
	2 ①社会生活上のルールの尊重	話し合いの成立、役割の遂行	生徒主導のLHR、タイミングをはかり指導
実施	2 ⑬教材、資料、用具の準備	必要に応じて用意、生徒が作成	1週間前から準備、資料を事前に作成・印刷
	3 ①集団をまとめることができる	H Rの進行を生徒にまかせ援助	
	1 ①生徒の自由な発想を受け止め	問題があれば指摘、検討させる	目標達成のため、意見を生かす。適宜助言
評価	1 ③生徒の考えを生かし	良いものは反映させる	小さな声にも耳を傾けていた。
	2 ②生徒同士で率直に意見を出し	発言しやすいよう配慮	グループの話し合いでは、様子を観察・助言
	2 ③本時の目標にあった活動	目標を理解させ、軌道修正	話し合いの目的を明確にしている。
	3 ②生徒に積極的な参加を促し	非協力的な生徒の指導	タイミングを見ながら、参加を促す。
	4 ⑥毅然とした態度で指導	毅然に対応	
	4 ⑧生徒自身による創意工夫を	発想を生かし、助言	目標達成に役立つように助言を与えている。
改善	6 ③スムーズに進行するための指導	様子を観察、適宜声をかける	
	6 ⑤自主的な学習態度の確立を図る	押し引きし、動きを待つ	待つ姿勢が印象的。参考にしたい。
	2 ②適切な助言をしている	活動が円滑に進むよう配慮	
	3 ②適材・適所の役割をもった指導	一人一役を基本に役割分担	
改善	3 ③生徒が協力しあえるような指導	意欲のない生徒の指導、中心生徒への励まし	叱責ではなく、参加できるように促しサポートする。
	4 ②次回の活動の改善につながるまとめ	本時の課題を明確にし、アドバイスする	生徒に考える機会を与える。最初に答えを与えない。
	4 ⑦意見・要望	必要ならば取り入れる	

（感想）

ホームルームには指針がないため不安になる。このような取り組みにより基準ができる。自分がロングホームルームを組み立てるときの参考になる。指導力を向上させることに効果がある。

（5）結果と考察

上の表が、今回の授業参観でC教員が作成した「授業力向上シート」である。未記入の欄はあるが、ロングホームルームを参観したことで、参考になった点は多かったようである。特に、このようなシートを使って事前に観点や項目を選択しておけば、見るべき点が明確になり、分かりやすいとのことだった。

また、ロングホームルームには教科書がないために、実際に担任を受けもつことへの不安を抱いていたが、このような方法で研鑽を行うことが契機となり、さらに担任を受けもつことへの意欲が高まったようである。

授業参観の際に用いた観点例と「授業力向上シート」についての感想は、以下のとおりであった。

- 観点や項目を選択するのに苦労した。
- 計画・立案、実施、評価・改善という項目の分類にとまどった。
- 観点は別になっているが、同じような重複する項目があるので、できるだけ違うものを選んだ方がよいのではないかと考えると選びにくかった。
- 選ぶ項目は、もうすこし少なくともよいのではないか。

最後に、教員同士による相互研鑽の方法は他にもあるだろうが、本部会で開発した「授業力向上シート」もロングホームルームにおける授業力向上に効果があるという感想ももらえることができた。

4 実践事例Ⅱ 「学校行事を題材にした相互研鑽による授業力の向上」

(1) 学校の特色と生徒の実態

B校は創立30周年を迎えた全日制普通科高校である。ほぼすべての生徒が卒業後は大学進学を希望している。勉学だけでなく、トータルな人格形成を教育目標としているため、部活動には9割近くの生徒が加入して文武両立を実践している。学校行事に対しても積極的に取り組む生徒が多く、文化祭、体育祭などでも活発な活動を行っている。学校行事の指導への教員の姿勢としては、意識の高い生徒に恵まれているがゆえに、生徒任せにし過ぎる傾向が多少あるように見受けられる。

(2) 研究対象とした学校行事

B校の体育祭を対象とした(2名×24クラスから構成される体育委員会によって運営される)。文化祭の後、一週間をおいて、4団(赤・白・青・緑)対抗の形式で行われる。なかでも、約5か月の準備期間を経て創作された応援合戦(各団72名による)が内外から高い評価を受けている。今年度は土曜日に開催され、約1,100人が参観した。

(3) 参観を行った教員

D教員：教員経験年数8年目。本校が3校目の勤務校。学校行事の指導経験あり。

E教員：教員経験年数2年目。本校が初任校。今年度は生活指導部で文化祭を担当。

F教員：教員経験年数1年目。本校が初任校。今年度は教務部を担当。

(4) 取組の経過

B校は前述したとおり、生徒全体に学校行事に積極的に取り組む雰囲気があり、リーダー性に秀でた生徒の数も他校と比べても多いと思われる。このような環境では一見すると指導が易しそうに思われるが、担当の指導教員が全面に出ず、生徒の自主性を尊重しながら、適切な助言を与えていくことは実際のところかなり難しい面もある。

ややもすると、「生徒に自主的に運営させようとする、時間もかかるし、いろいろからずから教員が指示を与えてしまったほうが早い。」とか「教員は一切干渉せず、生徒にすべて任せようほうが自主性は育つ。」というどちらかの指導になってしまいがちである。B校の体育祭は応援団に関しては生徒の手で自主的に運営されているが、全体の運営の面ではほとんどを教員の手委ねている感があった。そのため、昨年度は「生徒の手による体育祭！」をスローガンに掲げて、指導を行った結果かなりの成果を得ており、今年度はその定着を目指した。

本事例では、3名の教員に、授業力を向上する試みとして、体育祭のこれまでの経緯と今年度の指導方針・計画を説明して、「授業力向上シート」の記入を依頼した。観点表からどの項目を選択するかについては、D教員、E教員は体育祭を担当した経験がないため、他の学校行事を担当した経験をもとに選択してもらった。F教員については採用1年目であり、体育祭という行事そのものを教員として見たことがないため、自分の高校生時代の実体験をもとに選択することを依頼した。体育祭終了後、記入してもらった「授業力向上シート」を基に、今回の体育祭やこのような相互研鑽についての意見や感想をもらった。

特別活動授業力向上シート

観点	項目	自己の指導状況	参観した授業から得た改善のヒント
計画・立案	1 ①自主的、実践的な態度	「待ちの姿勢」で見守る	じっと見守り、自主的な態度を引き出す。
	2 ②教職員間で共通理解	意思伝達の仕方を工夫する	共通理解の結果、生徒の手による体育祭が実現
	3 ②係分担が適切になされている	「適材適所」を心がけ生徒の個性が発揮できるよう係分担	性格等を見極めた上で分担していて、この短期間で著しい成長を遂げた生徒もいた。
実施	1 ③生徒の考えを生かし	さりげない一言を加え、自主的に取り組んだという達成感	表だって中核部分にはいないものの、適切なアドバイスを適宜行っていた。
	2 ③生徒が目的・目標を理解	「伝統と創造」の関係を理解させる	伝統の部分とモデルチェンジすべき部分を、上手に組み合わせた体育祭に仕上がっていた。
	3 ①生徒一人一人を理解し	生徒と時間を共有し活動を把握	こまめに現場に足を運びリアルタイムで体験を共有して、適切な助言を与えるのに成功した。
	4 ⑨各教員の特性や専門性	経験者の先生の力を借りること	教員サイドでも「適材適所」を実現していた。
	5 ①分かり易く丁寧に話している	比喻や具体例も交え要領を得た	本番中も適宜必要な指示や説明を簡潔な言葉で行い円滑に運営がなされる一助となっていた。
	6 ③全体がスムーズに進行	丁寧に段取りを綿密に行い進行イメージを生徒と共有	明確なイメージトレーニングを行わせることで本番は大きな失敗もなく進化した。
評価・改善	3 ④次回の課題を考えさせる	反省点を洗い出してまとめを行った	行事終了後、数回にわたり話し合いの場を設け次回への申し送りのまとめを効果的に行った。
	4 ①効果的な指導のあり方	過去の事例にとらわれず今の生徒に効果的な指導はないか追求	その年度に応じた、指導方法を模索している様子があったわってきた。
	4 ⑦生徒の意見・要望	要望には真摯に耳を傾け	できる限り生徒の意見・要望を取り入れる工夫

(感想)

よく言われることだが、会社が変われば社長も変わる。社長が変わればやり方も変わる。生徒はもちろん違う。そのときどきの現状を見据えてふさわしいと思われる手だてを講じていく柔軟性がこの仕事には不可欠なのだということを実感した次第である。

(5) 結果と考察

上の表がD教員が今回作成した「授業力向上シート」である。D教員は経験年数8年目であり、学校行事を担当した経験もあるため、今回の「授業力向上シート」の目的や使い方についてもよく理解してくれて、観点の選択なども比較的スムーズに進んだようであった。「自己の指導状況」の記入も、指導経験を基本として自らの目標設定を行うようなイメージで取り組むことができたとのことである。

ただし、観点の選択については、学校行事の担当の経験がない教員にとってはイメージがはっきり浮かばないため選びにくいのでは、という意見をもらった。

その意見のとおり、経験年数1年目のF教員にはこのシートを活用することは難しいようであった。その理由として、生徒としての経験しかない体育祭を自分が担当者として指導する立場になったとき、どのような点に留意すべきであるかなどイメージがわからないということである。

今回、「授業力向上シート」を試行しその結果を分析すると、「授業力向上シート」の有効であった点は、以下のとおりである。

- 自らの指導における目標設定を行う上で効果的である。
- セルフチェックをすることで自分の指導状況を確認をすることができる。
- 自分と参観した担当者との指導の違いを明確に把握して、改善につなげることができる。

Ⅲ 研究の成果と課題

本研究では、特別活動における「授業を向上させるための観点例」を作成し、それを実際に活用する「授業力向上シート」の研究開発を行った。

本部会で作成した「授業を向上させるための観点例」と「授業力向上シート」は、全日制普通科単位制高校のロングホームルームと全日制普通科高校の体育祭の指導において試行した。

1 成果

(1) ロングホームルーム

担任経験のないC教員は、自分がロングホームルームを指導するならという仮定で「授業力向上シート」を作成した。「授業力向上シート」を作成する際、これまで気にとめていなかった観点は空欄となった。

ただし、「授業を向上させるための観点例」からこれまで気付かなかった観点を発見できたとの感想が聞けた。

「授業力向上シート」において、授業をどのように見たらよいか事前に観点を選択しているのので、観るべき点が明確になって、より充実した授業参観になったようである。授業参観後、協議を行う際も「授業力向上シート」を見ながら、課題解決につながった点、質問する点が明確になり話し合いも普段より中身の濃いものとなった。

(2) 学校行事（体育祭）

教員経験年数8年目のD教員からは、「授業力向上シート」を作成して、これまで経験に頼ってきた特別活動の指導の観点を意識して見ることができたとの感想をもらった。

また、「授業力向上シート」作成の際、観点や項目が多い箇所や少ない箇所があり、この多い又は少ないところから、自分が気にかけている観点、自分があまり気にかけていなかった観点に気付くことができたようである。

授業参観後も「授業力向上シート」を持ち寄って協議することで、書いたときの状況を思い出しやすくなり協議がスムーズに行われた。「授業力向上シート」を活用することは、学校行事の運営において指導を行う力（授業力）を身に付けるための相互研鑽を促進するきっかけとなった。

2 課題

2校で試行した結果、「授業力を向上させるための観点例」は、改善の余地があることが判明した。ロングホームルームや学校行事の指導経験がある教員は、授業の進め方や自分のかかえている課題など観点や項目を見付けるとは比較的簡単であった。

しかし、指導経験のない教員は「授業力を向上させるための観点例」から項目を選択するのがかなり困難であった。そこで、実践事例Ⅰのように授業者が観点例を示すことで指導経験のない教員も「授業力向上シート」を作成しやすくなる考えた。

ロングホームルームや学校行事の指導経験がない教員にも分かりやすい「授業を向上させるための観点例」に改善していくことが今後の課題である。